

## 令和7年度 職場リーダー・マネージャー会議 開催報告

組織調査部 石田 正道

令和7年度 職場リーダー・マネージャー会議は、令和8年2月14日（土）、名古屋市立大学 医学部研究棟 11階 講義室 A にて参集形式で開催され、会員 92 名が参加しました。

本会議は、主任クラスおよび管理職を目指す会員、ならびに管理職を対象に、「診療放射線技師の『新人教育』」をテーマとして実施しました。各施設における新人教育の現状や課題を共有し、これからの人材育成の在り方について考える機会とすることを目的としました。

第1部では、新城市民病院 放射線課 久保田高雄 理事を座長に、名古屋セントラル病院 中央放射線室 大野輝久 会員より「施設アンケート集計結果報告」が行われました。アンケート結果からは、各施設でさまざまな取り組みが進められている一方で、教育内容の標準化や指導者育成などに課題があることも見えてきました。新人教育を継続的に行うためには、組織としての支えが重要であることが改めて共有されました。

続いての施設発表では、藤田医科大学病院 放射線部 中井敏昭 理事、トヨタ記念病院 放射線科 澤貴司 会員より、体系的な教育プログラムや評価方法、心理的支援の取り組みなど、実践に基づいた具体的な事例が紹介されました。教育を「仕組み」として整え、組織全体で新人を育てていく姿勢が印象に残りました。

第2部では、小牧市民病院 放射線科 安井真由美 常務理事を座長に、社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷三方原病院 画像診断部 診療放射線技師長 鈴木康太 先生による特別講演「自立した放射線部門をつくるための人材育成」が行われました。人材育成は技術の習得だけではなく、自ら考え行動できる人を育てることが大切であり、そのためには役割を明確にし、対話を重ねながら振り返ることが重要であるとお話がありました。

本会議を通じて、新人教育は個人の努力だけに任せるものではなく、組織全体で取り組んでいくべき大切な課題であることを改めて感じました。各施設の取り組みを共有できたことは、自施設の教育体制を見直す良い機会となりました。今後も本会議を継続し、参加者の声を反映させながら、より実践的で実りある会議となるよう内容の充実を図ってまいります。

